

**2022年度 安全目標/実施管理表**

**結城運輸倉庫(株)**      **全営業所統括**

目標			計画					コメント	
安全目標	達成基準	評価	実施項目	実施者	対象	実施回数、実施時期	達成基準		評価
1	コンタミ事故ゼロ	X	<b>◆荷卸しパトロール、モニタリング、チェック</b>						
			①荷卸しパトロール	支店安全担当、所長、他	全乗務員	適宜実施	荷卸し確認書活用。配管残油絞り徹底。作業手順飛ばし無し	▲	達成率90%(五井・静岡に未実施者が多い)
			②ハイテックログモニタリング	所長、他	全乗務員	上期中2回(集計は1月末まで)	配管残油絞り徹底。ハイテックログと荷卸し確認書が整合している。COMへ報告している	▲	評価シートで報告をしているが上期に全員実施は未達 全員実施営業所(栃木・群馬・王子・鹿島)郡山は1名実施
			③荷卸し確認書モニタリング	所長、運行管理者	全乗務員	毎日	荷卸し確認書活用徹底。新荷卸し確認書の運用を理解している	▲	内部監査結果から
			<b>◆乗務員管理</b>						
			①荷卸し訓練	支店安全担当、所長、他	全乗務員	上期中1回	ローリー作業基準に則った荷卸しを実施している	▲	評価シートでの報告では達成率60%
			②道徳教育	所長	全乗務員	年3回(6月、10月、2月)	コンタミ隠蔽で拡大する被害や、想定される結果を、自覚させる教育を実施する	○	安全衛生会議で実施
			③ハイテク教育	支店安全担当、所長、他	白油ローリー乗務員	年1回	ハイテクに対する知識を高め、正しい操作、あるいは対応が出来る	○	6月度安全衛生会議で実施
			<b>◆車両、配送先、設備機器適正維持</b>						
			①底弁、各種仕切弁	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)		○	全営業所提出
			②隔壁、配管	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)	○	該当車両提出
			③ロックピン(ロック板)	所長、整備管理者、他	セミハイテックローリー	年2回(4月、10月)		○	該当車両提出
			④荷卸し立会いキャンペーン	安全管理部、所長、他	全乗務員	年2回(自社6月、COM10月)	相互立会いの定義を理解できている。SSの立会い状況が把握出来ている	○	実施済
2	交通人身事故ゼロ	X	<b>◆モニタリング、チェック</b>						
			①コンプライアンス	所長、運行管理者、他	全乗務員	毎日	アルコールチェック違反、急加速・急減速、速度超過、件数ゼロ	X	アルコールチェック違反6件 速度超過大幅な減少無し
			②ドラレコモニタリング	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	全乗務員安全運行を励行している(点検要領による)	▲	全員実施、必ずバック下車確認の機会がある納入先について 行うよう指示しているが数件バック機会無しがある
			<b>◆乗務員管理</b>						
			①国土交通省告示第1366号に準拠した教育	所長、運行管理者、他	全乗務員	月1回(安全衛生会議時)	安全運行に必要な知識を持つ(新入社員は教育課程による)	▲	五井営業所(2022年12月)未達
			②車両移動訓練	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	大型車の死角等注意点を理解する。個々の技術や特性を確認する	▲	2022年21件(後退17件)2023年12件(後退9件)と後退事故マイナス8件、前進での事故が減らないので要再考
			<b>◆車両、設備機器適正維持</b>						
①車両日常点検	乗務員、整備管理者	全車両	毎日	全車両日常点検を実施し健全性を維持している(点検要領による)	○	内部監査で確認			
②ローリーホースボックス、ツールボックス点検	所長、整備管理者	全ローリー車	年1回(消防点検時)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)	○	実施済			
3	施設内破損事故0件 全営業所365日達成	X	<b>◆コミュニケーション強化</b>						
			①点呼	運行管理者、補助者	全乗務員	毎日	健康起因事故防止、適性診断をもとにした指導、配送先情報(3Hのリスク)を確認	▲	内部監査で3Hを確認、配送先情報が指示書へ展開されていない事例あり、2023年度の課題
			②グループミーティング	グループ長	グループメンバー	毎月	正しいコミュニケーション状態維持、協働の意志醸成、情報共有	▲	決まったグループが上位を独占する状態、仙台営業所は10月までは良かったが繁忙期に入り沈没
			③運行管理者研修	社長	運行管理者、補助者	年2回	点呼執行者のスキル向上を図り、運行管理面から事故根絶を図る	▲	運行管理者は全員参加、補助者の一部に未参加あり。
			<b>◆乗務員管理</b>						
			①安全衛生会議	安全管理部、所長、他	全乗務員	毎月	安全教育、事故事例共有、情報共有を通じて、一体となって安全活動を推進する	▲	五井営業所12月議事録未提出(会議未実施)
			②ドライバー実地教育	安全管理部、他	全乗務員	年2回	乗務員の力量不足・知識不足による事故を撲滅する	X	バック事故事故は減ったが前進での接触事故増加 形を変えなくても必要か(2021・2022年事故事例から)
	③配送先、配送経路危険情報共有	所長、運行管理者、他	所長、運行管理者、乗務員	毎日	配送先、運行経路の情報を収集、更新、展開(需要家荷卸し立会い状況を把握)	X	4月からのヒヤリハットと配送指示書を確認から 実施5営業所、抜け3営業所、残りはほぼ展開出来ていない		
	異常事象の対応	▲	<b>◆異常事象対応訓練</b>						
			①初動対応訓練	安全管理部	営業所員	年4回(5月、7月、9月、11月)	管理者不在時、運行管理者あるいは事務所スタッフが正しい手順で事故対応出来る	○	11月は未実施代わりにCOMBCP訓練実施
			②BCP訓練	BCPプロジェクトチーム	本部含む全拠点	年1回(11月)	実戦に即した災害対策訓練を実施する(実施要領による)	▲	営業所の複合機エラー(対応済)、サマディへの声掛け
	③異常事象発生時の対応	所長、運行管理者、他	本部含む全拠点		異常事象発生時の対応が適切であったか。	▲	返品を自己判断で退出した事例あり(王子)		
	本日安全重点日および一貫テーマの安全活動	○	①乗務前点呼立会い	所長	所長、点呼執行者、乗務員	毎月(第1水曜日)	乗務前点呼にて、乗務員へ安全メッセージを伝達。安全意識高揚を図る	○	安全管理部の点呼立会いで確認(潮見・五井・清水)
②始業点呼実施チェック			所長	点呼執行者	正しい点呼を実施している(実施要領による)		○	安全管理部の点呼立会いで確認(潮見・五井・清水)	
③乗務員と関わる(添乗、訓練、パトロール)			所長、支店安全担当、他	全乗務員	教育訓練を通じて乗務員に関わる(各項目実施要領による)		▲	ほとんどの所長は油槽所での声掛けなどを実施 特に行動をしていない所長は2名	

評価基準：○=達成 ▲=一部達成 X=未達成